

(様式 7)

公共事業継続箇所評価調書

評価確定日（令和 4 年 9 月 3 0 日）

事業コード	R4－建－継－02			区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業（改築）			部局課室名	建設部 道路課
事業種別	一次改築（現道拡幅・バイパス）			班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2492
路線名等	国道 1 0 7 号			担当課長名	道路課長 伊勢 弘
箇所名	由利本荘市大築			担当者名	副主幹（兼）班長 船木 孝仁
プランとの 関連	戦略コード	03	戦 略 名	観光・交流戦略	
	目指す姿コード	05	目 指 す 姿 名	国内外との交流と住民の暮らしを支える交通ネットワークの構築	
	方向性コード	05	施 策 の 方 向 性	高速道路等の整備	

1. 事業の概要

事業期間	H30 ～ R10（11年）		総事業費	54.7億円		国庫補助率	59.50																																																					
事業規模	○延長L=2,350m、幅員W=6.5(9.5)m（1.50+3.25+3.25+1.50）m																																																											
事業の立案 に至る背景	○国道107号は、岩手県大船渡市から北上市、横手市を経由して由利本荘市までを連絡する路線であり、産業基盤の強化、地域間交流・連携を支援する広域的な幹線道路であるほか、地域住民の生活圏を支える重要な路線である。 しかし、当該区間は同路線における由利管内唯一の未整備区間となっており、豪雪地域でありながら必要な一次堆雪幅（1.0m）が確保されていない区間が大半で、急カーブ（最小曲線半径40m）も点在していることから、事故多発等、車両の安全な通行に支障をきたしている。また、第二次緊急輸送道路にも指定されている本路線の機能を保持するため、早急に整備を実施する必要がある。																																																											
事業目的	○現道拡幅及びバイパス整備による安全で円滑な交通の確保 ・線形改良及び幅員の確保による車両等通行の安全性等の向上 ○緊急輸送道路としての機能を確保（第二次緊急輸送道路）																																																											
事業費内訳 事業内容 （単位：千円）	<table><tr><td colspan="2"></td><td>前回評価</td><td>今回評価</td><td>増減</td><td>理由等</td></tr><tr><td rowspan="4">事業費内訳</td><td>事業費</td><td>5,453,000</td><td>5,471,000</td><td>18,000</td><td rowspan="3">道路予備及び詳細設計結果に伴う減</td></tr><tr><td>経費</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>工事費</td><td>5,153,000</td><td>5,000,000</td><td>△153,000</td></tr><tr><td rowspan="4">内訳</td><td>用補費</td><td>120,000</td><td>120,000</td><td>0</td><td rowspan="3">地すべりに関連する調査及び設計の追加による増</td></tr><tr><td>その他</td><td>180,000</td><td>351,000</td><td>171,000</td></tr><tr><td>国庫補助</td><td>3,568,989</td><td>3,255,245</td><td>△313,744</td></tr><tr><td rowspan="3">財源内訳</td><td>県債</td><td>1,695,500</td><td>1,994,100</td><td>298,600</td></tr><tr><td>その他</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>一般財源</td><td>188,511</td><td>221,500</td><td>33,144</td></tr><tr><td>事業内容</td><td>調査・設計改良工、舗装工、橋梁工、トンネル工</td><td>調査・設計改良工、舗装工、橋梁工、トンネル工</td><td></td><td></td><td>国庫補助率の変更による</td></tr></table>								前回評価	今回評価	増減	理由等	事業費内訳	事業費	5,453,000	5,471,000	18,000	道路予備及び詳細設計結果に伴う減	経費				工事費	5,153,000	5,000,000	△153,000	内訳	用補費	120,000	120,000	0	地すべりに関連する調査及び設計の追加による増	その他	180,000	351,000	171,000	国庫補助	3,568,989	3,255,245	△313,744	財源内訳	県債	1,695,500	1,994,100	298,600	その他				一般財源	188,511	221,500	33,144	事業内容	調査・設計改良工、舗装工、橋梁工、トンネル工	調査・設計改良工、舗装工、橋梁工、トンネル工			国庫補助率の変更による	
		前回評価	今回評価	増減	理由等																																																							
事業費内訳	事業費	5,453,000	5,471,000	18,000	道路予備及び詳細設計結果に伴う減																																																							
	経費																																																											
	工事費	5,153,000	5,000,000	△153,000																																																								
	内訳	用補費	120,000	120,000	0	地すべりに関連する調査及び設計の追加による増																																																						
その他		180,000	351,000	171,000																																																								
国庫補助		3,568,989	3,255,245	△313,744																																																								
財源内訳		県債	1,695,500	1,994,100	298,600																																																							
	その他																																																											
	一般財源	188,511	221,500	33,144																																																								
事業内容	調査・設計改良工、舗装工、橋梁工、トンネル工	調査・設計改良工、舗装工、橋梁工、トンネル工			国庫補助率の変更による																																																							
事業の進捗状況	○令和3年度末で事業進捗率8%（用地進捗率は80%）																																																											
事業推進上の課題	○特になし																																																											
関連する計画等	○由利本荘市総合計画																																																											
情勢の変化及び長期継続の理由	○「一番堰まちづくり地区計画」都市計画決定（R3.9）																																																											
事業効果把握の手法及び効果	<table><tr><td>指標名</td><td colspan="6">県管理道路における道路改築率（年度）</td></tr><tr><td>指標式</td><td colspan="6">改築率（県管理道路改築済延長／県管理道路実延長）</td></tr><tr><td>指標の種類</td><td>● 成果指標</td><td>○ 業績指標</td><td colspan="2">低減指標の有無</td><td colspan="2">○ 有 ● 無</td></tr><tr><td>目標値 a</td><td colspan="2">52.2%（R7末）</td><td colspan="2" rowspan="2">データ等の出典</td><td colspan="2" rowspan="2">道路課調べ</td></tr><tr><td>実績値 b</td><td colspan="2">51.7%（R3末）</td></tr><tr><td>達成率 b／a</td><td colspan="2">99.0%</td><td colspan="2">把握の時期</td><td colspan="2">令和4年 6月</td></tr></table>							指標名	県管理道路における道路改築率（年度）						指標式	改築率（県管理道路改築済延長／県管理道路実延長）						指標の種類	● 成果指標	○ 業績指標	低減指標の有無		○ 有 ● 無		目標値 a	52.2%（R7末）		データ等の出典		道路課調べ		実績値 b	51.7%（R3末）		達成率 b／a	99.0%		把握の時期		令和4年 6月																
指標名	県管理道路における道路改築率（年度）																																																											
指標式	改築率（県管理道路改築済延長／県管理道路実延長）																																																											
指標の種類	● 成果指標	○ 業績指標	低減指標の有無		○ 有 ● 無																																																							
目標値 a	52.2%（R7末）		データ等の出典		道路課調べ																																																							
実績値 b	51.7%（R3末）																																																											
達成率 b／a	99.0%		把握の時期		令和4年 6月																																																							

前回評価結果等	☒ 選定または継続 ☐ 改善 ☐ 見直し ☐ 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評 価 点
必 要 性	○車道幅員が5.5mと狭く、設計速度に対する曲線半径がとれていない（R=150m未満）急カーブが急峻な地形に沿って13箇所あり、視距不足により車両の通行に支障をきたしている。 ○当該工区では、過去に11件の事故が発生しており、内3件は重傷者が発生しているため、早期に整備する必要がある。	12点
緊 急 性	○秋田県道路整備計画において、日本海沿岸東北自動車道や秋田自動車道の代替路線として、その機能を補完し、由利地域と平鹿地域との地域間交流、広域的な物流や観光地へのアクセスに寄与する道路ネットワークとして位置づけられている。 ○当該工区起点側及び終点側は改良済みとなっており、同路線における由利管内での唯一の未整備区間となっている。一連の効果を発揮するために早期整備が必要である。	15点
有 効 性	○第二次緊急輸送路に指定されており、日沿道の本荘ICアクセスに直接寄与する路線でもあることから、整備による機能強化が期待される。 ○二次救急医療施設である本荘第一病院及び佐藤病院へのアクセス路線であり、整備による救命率の向上が期待される。	28点
効 率 性	○事業の費用便益比は1.84であり、効率性は高い。 ・総便益の現在価値 82.7億円 ・総費用の現在価値 44.9億円 ○橋梁5橋の内、4橋を函渠に見直しコスト削減を図っているほか、発生土を盛土材に使用しコスト削減を図っている。	20点
熟 度	○令和3年度末の事業進捗率は8%である（用地進捗率は80%）。	12点
判 定	ランク (☒ Ⅰ ☐ Ⅱ ☐ Ⅲ)	87点
	緊急性、効率性が高く、事業は引き続き実施すべきである。	
総 合 評 価	☒ 継続 ☐ 改善して継続 ☐ 見直し ☐ 中止	
	事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

コスト削減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 道路改築事業（地域間交流・連携促進）

事業コード (R4-建-継-02)
箇所名 (由利本荘市大築)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配 点	評価点	摘 要
必要性	道路の現状の問題				
	道路構造上の欠陥箇所数	3箇所以上	8	5	・最小半径40m ・冬期堆雪巾なし 計2項目
	・車道幅員<5.5m	2箇所	5		
	・最小半径<100m	1箇所	3		
	・最急勾配>4%	該当箇所なし	0		
	・冬期堆雪巾なし				
	道路環境上の欠陥該当項目	3項目以上該当	7	7	・現道の混雑度 1.03 ・現道の旅行速度30km/h ・重大交通事故が発生 計3項目
	・現道の混雑度 ≥ 1.0	2項目該当	5		
	・走行速度 $\leq 30\text{km/h}$	1項目該当	3		
	・現道の事故率 ≥ 50 件	該当項目なし	0		
	・重大交通事故が発生				
	・通学路指定で歩道なし				
	・バス路線で歩道なし				
	計		15	12	
緊急性	道路を取り巻く環境等				
	関連事業の有無	あり	5	5	・秋田県道路整備計画 ・由利本荘市総合計画
	・県の主要プロジェクト	なし	0		
	・地域振興プロジェクト				
	・ほ場整備等の他事業				
	緊急度の高い課題の有無	あり	5	5	・設計速度に対する曲線半径がとれていない平面曲線：13箇所 ・道路防災危険箇所：5箇所
	老朽橋、災害危険箇所、迂回路の確保	なし	0		
	冬期通行不能区間等				
	同一路線の整備状況	整備済み	5	5	・整備済み
		未整備	0		
	計		15	15	
有効性	道路の位置付け				
	緊急輸送道路	第1次輸送道路	8	6	・第2次輸送路
		第2次輸送道路	6		
		第3次輸送道路	4		
		指定なし	0		
	救急医療施設へのアクセス	アクセス性向上に大きく貢献	7	7	・二次救急医療施設 佐藤病院（由利本荘市） 本荘第一病院（由利本荘市）
		アクセス性向上に貢献	5		
		アクセス性向上に一定の効果	3		
	観光・産業の活性化	活性化に大きく貢献	7	7	・本荘 I C ・秋田県立大学本荘キャンパス ・鳥海国定公園
		活性化に貢献	5		
		活性化に一定の効果	3		
	社会変化による事業の必要性	必要性が高い	8	8	・一番堰まちづくり地区計画（TDK関連）
		必要性が低下傾向	4		
		必要性が著しく低下	0		
	計		30	28	
効率性	事業の投資効果等				
	費用便益比（B/C）	1.0以上	5	5	・B/C=1.84
		1.0未満	0		
	計画交通量	4,000台/日以上	5	5	・6,700台/日
		1,000台/日以上4,000台/日未満	3		
		1,000台/日未満	0		
	コスト縮減	あり	5	5	・橋梁から函渠に変更 ・発生土の工区内利用
		なし	0		
	事業中止による影響	既投資額の損失大	5	5	・大規模バイパス
		既投資額の部分的損失	4		
		既投資額の損失が少ない	3		
	計		20	20	
熟 度	事業の進捗状況				
	事業の進捗（事業費）	8割以上完了	10	2	8%
		5割以上完了	8		
		1割以上完了	5		
		1割未満	2		
	用地買収の進捗（面積）	8割以上完了	10	10	80%
		5割以上完了	8		
		1割以上完了	5		
		1割未満	2		
		未着手	0		
	計		20	12	
合 計			100	87	

2. 判 定

ランク	判定内容	配 点	判定	摘 要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		